

# 建築デザイン Architecture Design No.4

千葉県立市川工業高等学校 建築科 平成 25 年 12 月 1 日

pick up girls



市川工業高等学校へ入学したきっかけは？

美術・技術家庭科の授業が好きで、物を作ったり、**デザインをすることが好きでした。**進学するに当たり、美術・技術の先生に相談して、建築科のある市川工業へ入学しました。

女子ですが、工業高校に来ることはまったく問題ありませんでした。**女子生徒**は、私だけではなく他にもいましたし、男子生徒も良い人ばかりでした。

※スクールソーシャルワーカーとは子ども本人と向き合うだけでなく、家庭や行政、福祉関係施設など、外部機関と連携しながら、子どもを取り巻く環境を調整する仕事。

松戸第三中学校 出身  
たけい まりな

**武井 真梨菜 さん**

武井さんは、建築科在学中に福祉の勉強をしたことで、**スクールソーシャルワーカー**※になりたいと思い、福祉の専門学校で勉強中。

どのような学生時代でしたか？

文化祭で、遅くまで学校に残って仲間たちとドーム作りをしました。製図の課題も、時間を忘れ作業に没頭してしまい、夜遅くまでになってしまうことがありました。建築科に入学してから、自分で好きなデザインを考えたり、製図を描いたりが出来、本当に楽しく充実した3年間を過ごすことが出来ました。

市川工業高校卒業後は東京福祉専門学校（4年制）で、福祉の勉強をしています。「4年制」専門学校に進学した理由は、**国家資格**である「社会福祉士」と「精神保健福祉士」をダブルで取れるということです。

市川工業ではどのような勉強をしましたか？

市川工業に入学してから、**建築科のイメージが大きく変わりました。**建築科といっても木を切ったりするだけではなく、**福祉住環境**について学んだり、CADで設計やデザインをしました。そして、3年生のとき**福祉住環境コーディネーター**※の資格を取得したことが、**自分の将来を決めることに大きく影響した**と思います。将来の目標を見つけることが出来て、市川工業建築科に入学したことは、本当に良かったと思います。**建築関係も福祉の勉強も出来るので、中学生たちにもおすすめしたいです。**



※福祉住環境コーディネーターとは、高齢者や障害者に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーです。医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身につけ、各種の専門職と連携をとりながらクライアントに適切な設計プランを提示します。また福祉用具や諸施策情報などについてもアドバイスします。

これからの夢は？



これから、CADや建築をもっと勉強したいと思っています。そして、**市川工業建築科で学んだこと、専門学校で学んだことを活かして福祉住環境コーディネーターやスクールソーシャルワーカーなどの、仕事をしたい**と思っています。

